

11. 健康と安全

*自然の家には、病気やけがに対応する看護職員は常勤で配置されていません。

☆利用前

- 食物アレルギーのある場合は、事前（14日前まで）にご相談ください。
- 事前に、子どもたちの健康状態を把握しておいてください。
- 持病のある方は常備薬をご持参ください。
- 救急薬品等は利用団体でご用意ください。
- 緊急用として、乗用車を用意することをおすすめします。

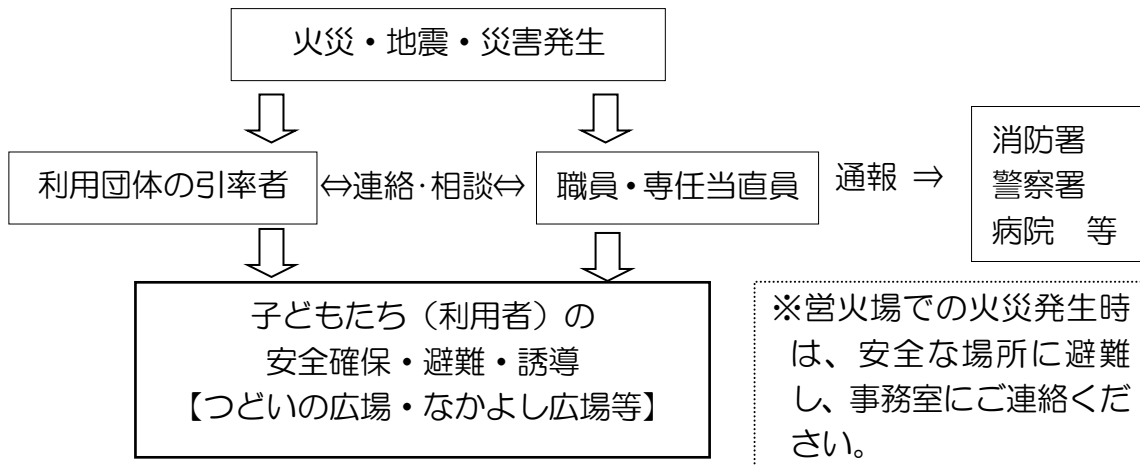
☆利用期間中

- 野山では肌を露出しない、磯辺では裸足にならない等、引率者は十分な安全指導を行ってください。
- 火を扱う活動では、長袖・長ズボンを着用するよう指導してください。
- 熱中症予防のため、体温調整や水分補給等の対策をしてください。
- 危険な動植物（スズメバチ、ヘビ、蚊、ウルシ、ダニ等）には十分注意してください。
- AED（自動体外式除細動器）は、玄関ホールの事務室受付窓口の下側に設置しております。※いかだ活動には移動用AEDを携帯してもらいます。
- 健康上の理由で活動に参加せず館内に残る人がいる場合は、引率者が付き添ってください（職員にも連絡をしてください。また、連絡板への記入もしてください）。
- 医務室で休養もできますが、ご利用の際には必ず引率者が付き添ってください。
- 「嘔吐物処理セット」を1階・2階の洗面所、医務室、食堂、スーパーハウスに準備していますので、嘔吐者があった場合には利用してください。また、嘔吐があった場合は、職員に必ず連絡をしてください。
- 嘔吐処理は引率者に行っていただきます（二次感染防止のため）。

12. 緊急時の対応

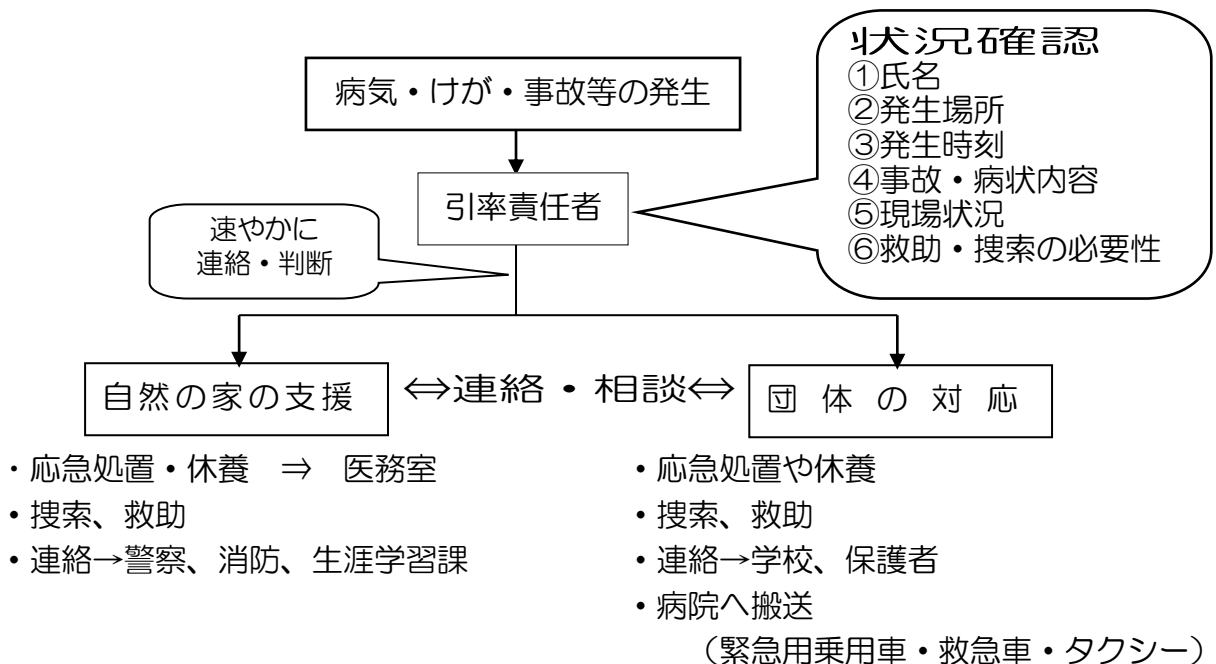
☆火災・地震等、避難が必要な場合の対応

- 火災、地震等に備え、非常口や消火器の位置、避難経路・避難場所を事前にご確認ください。（宿泊室には避難経路を掲示しています。）
- 日中に火災や地震などの災害が発生した場合は、当所で指示をします。引率者はその指示に従い、利用者の掌握と安全確保に万全を期してください。
- 夜間に災害が発生した場合は、専任当直員に連絡するとともに、引率責任者の判断で安全確保を図って避難してください。



☆病気・けが・事故等の対応

- 病気やけが、事故等が発生した場合は、直ちに事務室、又は付近の職員へご連絡ください。（日中は職員、夜間は専任当直員が対応します。）
- 傷病者の病院への搬送は、各団体で行っていただきます。（重いけがの場合は、救急車搬送の対応をお願いします）
- ノロウイルスやインフルエンザ等の疑いが発生したら、隔離・保護者への迎えの要請等の対応が必要となります。利用を途中で中止しなければならない場合もあります。



<緊急時の連絡先>

- ◎ 休日・夜間診療所 0178-20-7651
(19時～23時 日曜・祝祭日は12時～23時)
- ◎ 八戸消防本部救急医療情報 0178-24-3999
※ 最寄りの病院については職員にご相談ください。